

令和9年度千葉県公立高等学校入学者選抜 学力検査（マーク式及び記述式解答）に係る注意事項について

解答用紙の注意事項

マーク式の解答は、マーク欄をHB又はBの濃さの黒鉛筆（シャープペンシルでも可）で塗りつぶします。なお、解答用紙は裏面を使用することもあります。

- ・解答を書き直す場合は、消しゴムを使ってきれいに消してください。消し忘れや、消し方が不十分な場合及び消しきずが残っている場合は、読み取りエラーが起こることがあります。
- ・解答用紙を折り曲げることや、汚すことがないようにしてください。
- ・所定の記入欄以外の余白には、何も記入しないでください。

記述式解答の注意事項

解答欄をはみ出さないように記述してください。記述式解答は、解答欄をパソコンの画面に表示して採点します。

良い例

(1)	would
-----	-------

悪い例

(1)	would
-----	-------

マーク式解答の注意事項

良い例

● 濃くはっきりと塗りつぶしている

悪い例

読み取りエラーが起こることがあります。



線を引くだけで塗りつぶしていない



はみ出している



レ点を記入し、塗りつぶしていない



塗りつぶす箇所が小さい



輪郭をなぞっているだけ



塗りつぶし方が薄い

※ 受検番号の塗り方

右の例のように、全ての教科において、受検番号は左から右に手書きで上部に記入し、該当するマーク欄を塗りつぶします。なお、裏面に受検番号を記入する教科もあります。

* マーク欄の枠の色（右の例は桃色）を変更する場合があります。

受 検 番 号			
1	1	5	8
①	①	①	①
●	●	①	①
②	②	②	②
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	●	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	●
⑨	⑨	⑨	⑨

○符号を選択する形式の解答例

符号を選択する場合は、その符号のマーク欄を塗ります。

① 1つだけ選択する場合 （例）解答が「ウ」

(1)	ア	イ	●	エ
-----	---	---	---	---

② 2つ以上を同時に選択する場合 （例）解答が「ア」、「イ」、「ウ」

(1)	●	●	●	エ	オ
-----	---	---	---	---	---

③ 並び替えをする場合 （例）解答が「ウ」→「イ」→「エ」

(1)	ア	イ	→	ア	●	→	ア	イ
	●	エ		ウ	エ		ウ	●

○数値を答える形式の解答例

数値を答える場合は、かな符号（あ、い、う、え、…）にあてはまる符号（－）や数字（0～9）を解答欄の例のように塗りつぶします。

① $2 + 3 =$ あ の場合、答えは5なので、次のように塗ります。

解答欄の例

あ	－	0	1	2	3	4	●	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

② $5 \times 8 =$ いう の場合、答えは40なので、次のように塗ります。3桁以上も同様です。

い	－	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9
う	－	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

③ $-4 \times 7 =$ えおか の場合、答えは、－28なので、次のように塗ります。

え	●	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お	－	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
か	－	0	1	2	3	4	5	6	7	●	9

※ 例えば、かな符号が3つ並んでいる場合、答えは「3桁の数」または「負の数で2桁の数」となります。005、027、－06のような答えにはなりません。

④ 答えが分数となる場合、分子の数を先に塗り、分母の数を後に塗ります。
なお、答えに分数が含まれる場合は、それ以上約分できない形で解答します。

例えば、

き

く

 に $\frac{2}{3}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$\frac{4}{6}$ と解答した場合は、正解になりません。

き	－	0	1	●	3	4	5	6	7	8	9
く	－	0	1	2	●	4	5	6	7	8	9

- ⑤ 答えが分数で負の数となる場合は、分子に－（マイナス）をつけて解答します。

例えば、 $\frac{\boxed{\text{けこ}}}{\boxed{\text{さし}}}$ に $-\frac{5}{13}$ を解答する場合は、 $\frac{-5}{13}$ とし、次のように塗ります。

け	☒	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
こ	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☒	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
さ	☐ －	☐ 0	☒	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
し	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☒	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9

- ⑥ 答えに根号が含まれるときは、根号の中を最も小さい自然数とした形で解答します。

例えば、 $\boxed{\text{す}}\sqrt{\boxed{\text{せ}}}$ に $4\sqrt{2}$ を解答する場合は、次のように塗ります。

$2\sqrt{8}$ と解答した場合は、正解になりません。

す	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☒	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
せ	☐ －	☐ 0	☐ 1	☒	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9

- ⑦ 答えに文字が含まれ、係数を答えるときは次のように解答します。

例えば、 $\boxed{\text{そ}}a - \boxed{\text{た}}b$ に $9a - 6b$ と解答する場合は、次のように塗ります。

そ	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☒
た	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☒	☐ 7	☐ 8	☐ 9

- ⑧ 答えが順不同となる時、例えば、 $x^2 - 5x + 6 = (x - \boxed{\text{ち}})(x - \boxed{\text{つ}})$ の場合、左辺を因数分解すると、 $(x - 2)(x - 3)$ または $(x - 3)(x - 2)$ となります。

この場合、次の塗り方のどちらも正解となります。

ち	☐ －	☐ 0	☐ 1	☒	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
つ	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☒	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9

ち	☐ －	☐ 0	☐ 1	☐ 2	☒	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9
つ	☐ －	☐ 0	☐ 1	☒	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9